

会員の
ひろば

ECO 検定、エコピープルって、知っていますか

船越元

1. エコピープル、ECO 検定とは

エコピープルとは、東京商工会議所が主催する「環境社会検定試験(通称 ECO 検定)」の合格者に与えられる呼称で、環境と経済が両立する「持続可能な社会」を目指すために、環境に対する幅広い知識をもって社会の中で率先して環境問題に取り組んでいく人のことです。

試験は、毎年7月と12月の2回、全国176カ所の受験会場で行われ、老若男女を問わず誰でも挑戦できます。これまで9回実施され、8回目の試験を終えた段階ですでに6万人を超える方が合格しています。因みに、合格率は70%を超えており、落すための試験ではないと言われています。

2. 私が受験した動機

私が ECO 検定に挑戦した動機は、今から2年ほど前に(社)日本技術士会北海道支部の前支部長大島紀房氏から科学技術エコリーダーの公式テキストの執筆を頼みたいと要請を受けたことが発端でした。それまで私はエコピープルという言葉も知りませんでしたので、エコピープルの上位資格であるエコリーダーの公式テキストを執筆するなどおこがましいと考えたのですが、大島氏からの要請を断り切れず、恥を忍んで受諾しました。その後、「エコリーダーのテキスト執筆者がエコピープルになっていないのは格好付かないので、まずは ECO 検定に合格して下さい。」と言われ、あわてて挑戦することになった次第です。

3. お恥ずかしい話

自分はこれまで多少なりとも環境分野の業務を手掛けておりましたし、地球温暖化をはじめ環境に対

する問題意識も人一倍持っていると思っておりましたので、合格率70%の試験は簡単に合格できるだろうと甘く考え、受験準備もせずに一発挑戦しました。が何と、どの問題を見ても判断に迷う設問ばかりで、結果は何とか合格できたものの、改めて自分の勉強不足を痛感させられました。

でも、受験のための公式テキスト本が市販されていますので、この内容をしっかり勉強しておけば決して難しい試験ではないことを申し添えておきます。

4. 今後に向けて

私は今、科学技術エコリーダーの公式テキストを他の共同執筆者とともに纏めているところですが、まもなく最終校正が終わり、夏頃には一般書店から販売される予定です。

最後になりますが、私達技術士にはこれからの「持続可能な社会」を創っていくうえで、科学技術を通して広く社会に貢献していく重大な責務と能力があることを認識して頂き、ぜひ科学技術エコリーダーの資格に挑戦して頂きたいと願っています。しかし、その前にまず、技術士の皆さんが率先して ECO 検定に挑戦し、一日も早くエコピープルになって身近な環境活動に携わって頂きたいと思います。

船越元 (ふなこし はじめ)
技術士(農業/総合技術監理部門)

北電総合設計 株式会社

